

第4世代地球シミュレータの運用も4年目となり、ベクトルノード・CPUノード・GPUノードそれぞれのノードの特色を活かした成果が上がってきています。年度の後半には利用率も非常に高い状態が続き、その性能を十分に活用した利用が進んできています。

また、次世代の計算機についての検討も開始されており、現行機を用いた研究成果を数多く創出するとともに、次世代につながる利用も増加することを期待しています。

地球情報科学技術センター長  
石川 洋一

